

第97期 事業報告書

平成16年4月1日～平成17年3月31日



主要な経営指標等の推移

(単位：百万円)

| | 第94期 | 第95期 | 第96期 | 第97期 |
|-----------|----------|---------|--------|--------|
| | 平成13年度 | 平成14年度 | 平成15年度 | 平成16年度 |
| 連結 | | | | |
| 売上高 | 39,729 | 36,662 | 43,913 | 39,734 |
| 営業利益 | △ 1,639 | 371 | 922 | 1,348 |
| 経常利益 | △ 2,065 | 654 | 1,442 | 1,740 |
| 当期純利益 | △ 15,997 | △ 2,333 | 1,041 | 1,010 |
| 株主資本額 | 20,281 | 19,530 | 24,013 | 24,005 |
| 総資産額 | 55,642 | 48,429 | 54,458 | 55,957 |
| 単体 | | | | |
| 売上高 | 34,918 | 23,768 | 22,754 | 24,316 |
| 営業利益 | △ 1,742 | △ 38 | 573 | 966 |
| 経常利益 | △ 1,864 | △ 172 | 465 | 1,020 |
| 当期純利益 | △ 17,400 | △ 2,893 | 395 | 380 |
| 株主資本額 | 22,141 | 20,788 | 24,403 | 23,737 |
| 総資産額 | 52,247 | 37,579 | 46,085 | 45,724 |

※14年度の単体売上高の減少は、物流部門の分社化によるものです。

CONTENTS

| | |
|---------------|----|
| 財務ハイライト | 1 |
| 株主の皆様へ | 2 |
| セグメント別営業の概況 | 3 |
| 連結財務諸表(要約) | 5 |
| 単体財務諸表(要約) | 7 |
| 会社概要・グループ会社一覧 | 9 |
| 株式の状況 | 10 |

売上高推移



経常利益推移



当期純利益推移



株主資本・総資産推移(連結)



株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第97期事業報告書をお届けするにあたりまして、ご挨拶を申し上げます。

当期における我が国経済は、期前半において輸出や生産の増加と高水準の設備投資により、順調な回復過程を辿ってまいりましたが、期半ば以降、輸出の伸び悩みや素材価格の上昇など景気の下押し懸念から、景気の踊り場局面が続いております。

このようなマクロの経済環境下、物流システム事業分野では、本格的な消費回復には今しばらく時間を要することから、自前の大型設備投資が抑制される一方で、物流アウトソーシング化が進展し、ローコスト指向が高まるなど、厳しい受注環境となっております。機械・プラント事業分野では、国内の国家備蓄案件が一段落したものの、クリーンな環境特性を持つ天然ガスの急速な需要増加を背景に、海外のLPG、LNG貯蔵設備としての低温・極低温タンクに対する引合いは引続き活発に推移いたしました。また、建築事業分野においては、受注競争が激化する中、建築資材の高騰等厳しい環境が続いております。

当社グループは、このような事業環境にあって、機械・プラント事業部門の好業績に加えて、他事業部門においても採算性の向上に努めたことから、前期比減収ではありますが、営業利益、経常利益とも大幅な増益を確保することができました。

当期の売上高は、397億3千4百万円（前期比9.5%減）、営業利益は13億4千8百万円（前期比46.1%増）、経常利益は17億4千万円（前期比20.6%増）となりました。しかしながら、資産の健全化を促進するため、有価証券の減損処理や固定資産の除却処理等を行った結果、当期純利益は10億1千万円（前期比3.0%減）となりました。また、受注高は、358億7千7百万円（前期比13.4%増）となりました。

当社グループでは、「健全で強い、そしてダイナミックな企業グループの創生」を目指し、4つの経営課題にグループを挙げて取り組むことにより、企業価値の一層の向上を図ってまいります。

①高収益の体質化と収益力の向上

主要事業の強化・改善、業務の効率化、コストの削減等に取り組んでまいります。

②人材の活性化および人的資源の効率的活用

人事制度全般を基本・原点に立ち返り見直すことにより、人的総合力、組織能力の強化を図ってまいります。

③コーポレート・ガバナンスとコンプライアンス経営の確立

取締役会および監査役会機能の充実・強化、内部統制・コンプライアンス体制の整備に努めてまいります。

④グループ経営の強化

グループ運営の基本方針の一元化、経営情報の相互理解および共有化により、グループ総合力の向上を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成17年6月

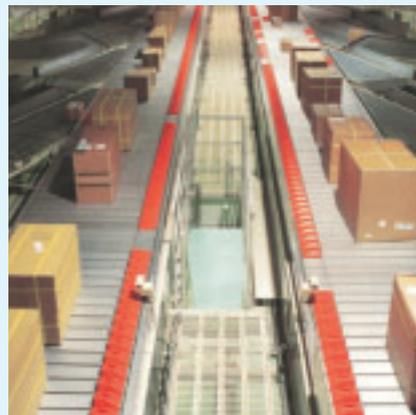
取締役社長 清田 重昭



物流システム事業

得意とするピッキングシステムやWMS（物流管理用情報システム）等のITを絡めた物流システムに注力し、積極的な営業活動を展開したことにより、前期を上回る受注を確保いたしました。売上面では、生協、量販店、委託運輸向けが堅調に推移した他、中部国際空港や羽田空港等の大型工事は予定通り完成し、売上に寄与しましたが、納期が次期上半期となっている大型仕掛案件があり、前期に比べ売上高は減少いたしました。しかしながら、収益面ではコスト削減により、営業利益は、前期に比べ増益を達成することができました。

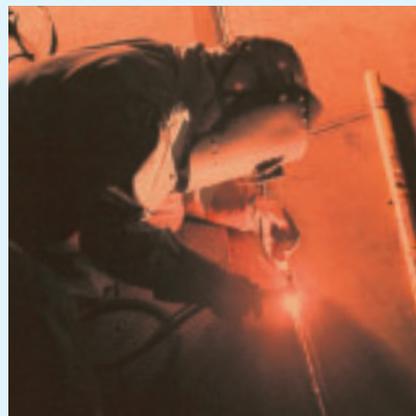
この結果、当事業の売上高は135億9千5百万円（前期比22.5%減）、受注高は159億3千万円（前期比12.7%増）となりました。



機械・プラント事業

豊富な実績、専門メーカーとしての技術力を活かして、主として中東および東南アジアにおいて、積極的な営業活動を展開してまいりました。その成果として、当上半期には、大型ガスプロジェクトが継続的に計画・推進されているイラン、カタール向けに、各種タンクの材料輸出案件、大型工事案件をそれぞれ受注いたしました。また、当下半期には、当社の海外加工拠点が、タンク納入実績の豊富なインドネシアにおいて、金属二重殻の型式としては世界最大容量のLNGタンク2基を成約いたしました。一方、国内では、対地震安全対策に関する法令改正の動向を踏まえた既設油タンクの改造、改修の動きにも積極的に取り組み、メンテナンス工事の受注に注力いたしました。売上面では、国内外のLPG、LNGタンク建設工事が順調に進捗し、売上増となりました。鋼材価格の高騰などコストアップの要因があるものの、コスト管理を徹底することにより、確実な収益確保に努めております。

この結果、当事業の売上高は152億1千6百万円（前期比46.5%増）、受注高は139億6千4百万円（前期比58.4%増）となりました。



建築事業

主力の賃貸用共同住宅の営業活動において採算を重視したことにより、受注・売上ともに減少しましたが、利益面での改善を果たすことができました。

この結果、当事業の売上高は75億3千3百万円（前期比18.8%減）、受注高は59億8千1百万円（前期比31.3%減）となりました。

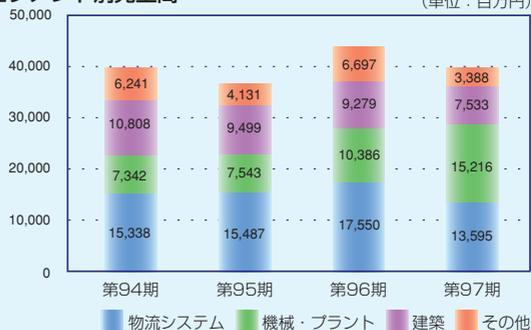


その他事業

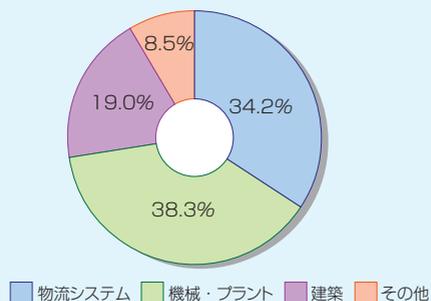
その他業種の子会社・関連会社は、それぞれ業容拡大、発展に注力しておりますが、不採算事業の撤退等により、売上高は33億8千8百万円（前期比49.4%減）となりました。

セグメント別売上高

(単位：百万円)



セグメント別売上高

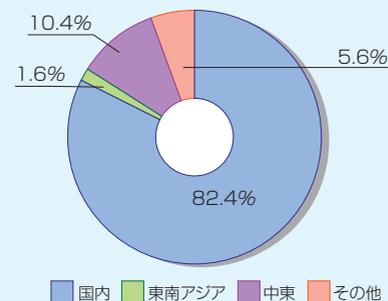


セグメント別営業利益

(単位：百万円)



連結売上高に占める国内外売上高の割合



※内部売上高または振替高を消去する前の数値にもとづき表示しています。

TOPICS

機械・プラント事業

タンゲールLNG液化基地向け大型LNGタンク受注

インドネシア・タンゲール（パプア州）のLNG（液化天然ガス）生産設備向けに、金属二重殻の型式としては、世界最大容量（運転容量：17万キロリットル）の大型LNGタンク（外槽直径：84メートル、外槽高さ：39.4メートル）を2基受注しました。平成20年4月までに完成予定です。



物流システム事業

大型空港プロジェクトの手荷物搬送設備工事が完成

平成16年12月に羽田空港第2旅客ターミナルビルがオープン

平成17年2月に中部国際空港が開港し、当社グループが施工した手荷物搬送設備も順調に稼働しています。



「次世代オーダー集品システム」を共同開発

従来の方式に比べ、約半分の要員で商品を仕分けることのできる「次世代オーダー集品システム」を㈱シーエックスカーゴと共同開発しました。全国の生活協同組合や食品・日用品を販売する企業等、幅広い分野での拡販を目指しています。

連結財務諸表（要約）

POINT①

物流システム事業で、納期が次期上半期となっている大型仕掛案件により、増加しました。

POINT②

機械・プラント事業において入金条件の良い海外案件の割合が増加したことに加え、物流システム事業での次期売上案件の中間入金等により前受金が増加（約26億円）しました。

POINT③

プロジェクト資金としての借入金13億円を返済し、更にグループ全体として借入金返済を進めました。

POINT④

制度変更に伴い、一部確定拠出型への移行によるキャッシュアウトを実施したことで、退職給付引当金が減少（約14億）しました。

有利子負債と現預金残高推移 有利子負債 現預金残高 (単位:百万円)



連結貸借対照表（要約）

(単位：百万円)

| | 第96期 平成15年度 | 第97期 平成16年度 |
|------------------------|----------------|----------------|
| (資産の部) | | |
| 流動資産 | 21,024 | 22,795 |
| 現金及び預金 | 6,727 | 6,605 |
| 受取手形及び売掛金 | 9,358 | 9,764 |
| 有価証券 | 5 | — |
| たな卸資産 | 3,733 | 5,822 |
| 短期貸付金 | 1,440 | 204 |
| その他 | 350 | 491 |
| 貸倒引当金 | △ 593 | △ 92 |
| 固定資産 | 33,434 | 33,161 |
| 有形固定資産 | 17,051 | 16,543 |
| 無形固定資産 | 279 | 317 |
| 投資その他の資産 | 16,103 | 16,300 |
| 投資有価証券 | 12,051 | 12,428 |
| 長期貸付金 | 1,755 | 1,958 |
| その他 | 2,948 | 2,955 |
| 貸倒引当金 | △ 652 | △ 1,041 |
| 資産合計 | 54,458 | 55,957 |
| (負債の部) | | |
| 流動負債 | 16,893 | 20,419 |
| 支払手形及び買掛金 | 2,082 | 1,963 |
| 短期借入金 | 9,106 | 9,497 |
| その他 | 5,702 | 8,958 |
| 固定負債 | 13,533 | 11,506 |
| 長期借入金 | 5,135 | 2,843 |
| 繰延税金負債 | 3,249 | 4,838 |
| 退職給付引当金 | 5,141 | 3,686 |
| その他 | 6 | 138 |
| 負債合計 | 30,426 | 31,926 |
| (少数株主持分) | 18 | 25 |
| (資本の部) | | |
| 資本金 | 18,580 | 18,580 |
| 資本剰余金 | 3,064 | 1,104 |
| 利益剰余金 | △ 1,985 | 979 |
| 土地再評価差額金 | 1,618 | 331 |
| 其他有価証券評価差額金 | 3,418 | 3,720 |
| 為替換算調整勘定 | △ 639 | △ 656 |
| 自己株式 | △ 43 | △ 53 |
| 資本合計 | 24,013 | 24,005 |
| 負債、少数株主持分及び資本合計 | 54,458 | 55,957 |

連結損益計算書（要約）

（単位：百万円）

| | 第96期 平成15年度 | 第97期 平成16年度 |
|--------------|----------------|----------------|
| 売上高 | 43,913 | 39,734 |
| 売上総利益 | 3,935 | 4,548 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,012 | 3,200 |
| 営業利益 | 922 | 1,348 |
| 営業外収益 | 941 | 795 |
| 営業外費用 | 422 | 403 |
| 経常利益 | 1,442 | 1,740 |
| 特別利益 | 387 | 412 |
| 特別損失 | 713 | 1,066 |
| 税金等調整前当期純利益 | 1,116 | 1,086 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 90 | 87 |
| 法人税等調整額 | △ 15 | △ 11 |
| 少数株主利益 | △ 0 | △ 0 |
| 当期純利益 | 1,041 | 1,010 |

①

POINT①

機械・プラント事業の売上は約50%増加しましたが、これ以外の事業の売上の減少により、売上高合計では前期と比べ減少しました。

②

POINT②

売上高は減少しましたが、機械・プラント事業の好成績に加えて、他事業部門においても採算性の向上に努めたことから、営業利益、経常利益は前期に引き続き大幅増益となりました。

③

POINT③

更なる資産の健全化および期間損益の平準化を目的として、資産の減損或いは除却処理、引当金の設定等を実施した結果、最終利益は前期並みとなりました。

連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

| | 第96期 平成15年度 | 第97期 平成16年度 |
|-----------------------|----------------|----------------|
| I. 営業活動によるキャッシュ・フロー | 207 | 1,270 |
| II. 投資活動によるキャッシュ・フロー | 44 | 542 |
| （フリーキャッシュ・フロー I+II） | 251 | 1,812 |
| III. 財務活動によるキャッシュ・フロー | 497 | △ 1,910 |
| IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △ 105 | △ 23 |
| V. 現金及び現金同等物の増減額 | 643 | △ 122 |
| VI. 現金及び現金同等物の期首残高 | 5,955 | 6,598 |
| VII. 現金及び現金同等物の期末残高 | 6,598 | 6,475 |

（過去の負の資産と累積損失を一掃）
投資有価証券評価損69億円、未認識退職給付債務一括処理50億円、関係会社債権・ゴルフ会員権等の引当処理24億円等を実施

損益とフリーキャッシュ・フロー

（単位：百万円）



単体貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

| | 第96期 平成15年度 | 第97期 平成16年度 |
|---------------------|----------------|----------------|
| （資産の部） | | |
| 流動資産 | 16,350 | 16,110 |
| 現金及び預金 | 5,295 | 5,337 |
| 受取手形及び売掛金 | 4,418 | 5,925 |
| たな卸資産 | 2,369 | 3,006 |
| 短期貸付金 | 5,071 | 1,559 |
| その他 | 278 | 322 |
| 貸倒引当金 | △ 1,082 | △ 40 |
| 固定資産 | 29,734 | 29,613 |
| 有形固定資産 | 13,719 | 13,036 |
| 無形固定資産 | 190 | 166 |
| 投資その他の資産 | 15,825 | 16,410 |
| 投資有価証券 | 11,190 | 10,931 |
| 関係会社株式 | 2,043 | 2,054 |
| 出資金 | 870 | 686 |
| 長期貸付金 | 1,763 | 3,976 |
| その他 | 244 | 173 |
| 貸倒引当金 | △ 287 | △ 1,411 |
| 資産合計 | 46,085 | 45,724 |
| （負債の部） | | |
| 流動負債 | 12,575 | 14,187 |
| 支払手形及び買掛金 | 1,256 | 972 |
| 短期借入金 | 7,738 | 7,788 |
| その他 | 3,578 | 5,426 |
| 固定負債 | 9,107 | 7,799 |
| 長期借入金 | 3,447 | 1,199 |
| 繰延税金負債 | 3,250 | 4,724 |
| 退職給付引当金 | 2,408 | 1,763 |
| 役員退職慰労引当金 | — | 110 |
| 負債合計 | 21,682 | 21,987 |
| （資本の部） | | |
| 資本金 | 18,580 | 18,580 |
| 資本剰余金 | 3,062 | 1,102 |
| 利益剰余金 | △ 1,960 | 374 |
| 土地再評価差額金 | 1,618 | 331 |
| その他有価証券評価差額金 | 3,118 | 3,375 |
| 自己株式 | △ 16 | △ 26 |
| 資本合計 | 24,403 | 23,737 |
| 負債・資本合計 | 46,085 | 45,724 |

POINT①

売上債権は、機械プラント事業の売上が前期と比べ増加したことにより、約15億円増加しました。

POINT②

長短貸付金は関連会社の短期から長期への移動分（約34億円）、長期の返済分（約12億円）による増減です。

POINT③

長短借入金は、プロジェクト資金の返済と有利子負債の削減に努め、約22億円削減しました。

単体損益計算書（要約）

（単位：百万円）

| | 第96期 平成15年度 | 第97期 平成16年度 |
|--------------|----------------|----------------|
| 売上高 | 22,754 | 24,316 |
| 売上総利益 | 1,616 | 2,132 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,043 | 1,166 |
| 営業利益 | 573 | 966 |
| 営業外収益 | 259 | 384 |
| 営業外費用 | 367 | 331 |
| 経常利益 | 465 | 1,020 |
| 特別利益 | 289 | 372 |
| 特別損失 | 363 | 990 |
| 税引前当期純利益 | 392 | 402 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 12 | 17 |
| 法人税等調整額 | △ 15 | 4 |
| 当期純利益 | 395 | 380 |
| 前期繰越損失 | 2,378 | - |
| 土地再評価差額金取崩額 | 22 | △ 6 |
| 当期末処分利益 | △ 1,960 | 374 |

POINT①

機械・プラント事業の好業績により、売上高、営業利益、経常利益は増加しました。

POINT②

更なる資産の健全化および期間損益の平準化を目的として、資産の減損或いは除却処理、引当金の設定等を実施した結果、最終利益は前期並みとなりました。

利益処分

（単位：円）

| 適 要 | 金 額 |
|--------------------|-------------|
| 当期末処分利益 | 374,303,843 |
| これを次のとおり、処分いたしました。 | |
| 次期繰越利益 | 374,303,843 |



商 号 トーヨーカネツ株式会社
 TOYO KANETSU K.K.
 設立年月日 昭和16年5月16日
 資 本 金 185億80百万円
 所 在 地 東京都江東区東砂八丁目19番20号
 事 業 所 本 社 東京都江東区
 大阪営業所 大阪府摂津市
 工 場 千葉工場 千葉県木更津市

役 員
 代表取締役社長 清田 重昭
 代表取締役常務 水上 健
 取締役 有田 貞雄
 取締役兼上席執行役員 島崎 真次
 取締役兼上席執行役員 柳川 徹
 常勤監査役 能條 輝夫
 監査役 日野 正晴
 監査役 村重 嘉文
 監査役 遠藤 紘一

グループ会社一覧

物流システム事業

- トーヨーカネツ ソリューションズ株式会社
- ケイ・テクノ株式会社

東京都江東区
 東京都江東区

物流システム事業／機械・プラント事業

- トーヨーカネツマレーシア社

マレーシア

機械・プラント事業

- アル・ガリーラ エンジニアリング アンド コンストラクション社
- トーヨーカネツインドネシア社
- ティーケーケーユーエスエー社

オマーン
 インドネシア
 アメリカ

建築事業

- トーヨーミヤマ工業株式会社
- 株式会社片山組

千葉県木更津市
 東京都新宿区

その他の事業

- 株式会社ティケイエル
- 株式会社トーヨースービスシステム
- グローバルエイト株式会社
- トーヨーコーケン株式会社
- 株式会社マナビス
- ティーケーケーエンジニアリング社

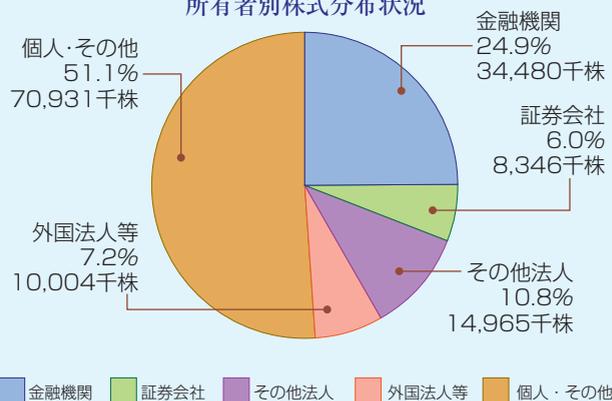
東京都江東区
 東京都江東区
 東京都江東区
 東京都江東区
 千葉県浦安市
 オーストラリア

会社が発行する株式の総数 — 297,000,000 株
 発行済株式総数 — 138,730,741 株
 株主数 — 21,172 名

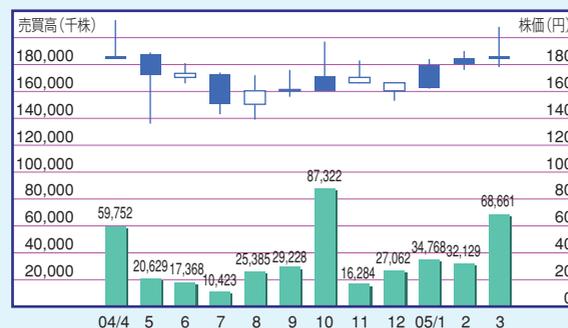
大株主（上位10名）

| 株主名 | 持株数 | 議決権比率 |
|--------------------------------|---------|-------|
| 株式会社りそな銀行 | 6,841千株 | 4.99% |
| 日本証券金融株式会社 | 5,279千株 | 3.85% |
| 日本生命保険相互会社 | 4,605千株 | 3.36% |
| 株式会社みずほ銀行 | 4,506千株 | 3.29% |
| 株式会社レオパレス21 | 3,500千株 | 2.55% |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社信託口 | 3,321千株 | 2.42% |
| 大栄不動産株式会社 | 2,125千株 | 1.55% |
| ゴールドマン・サックス・インターナショナル | 1,698千株 | 1.24% |
| シービーロンドンリーガルアンドジェネラルストックレンディング | 1,646千株 | 1.20% |
| 株式会社メタルワン | 1,539千株 | 1.12% |

所有者別株式分布状況



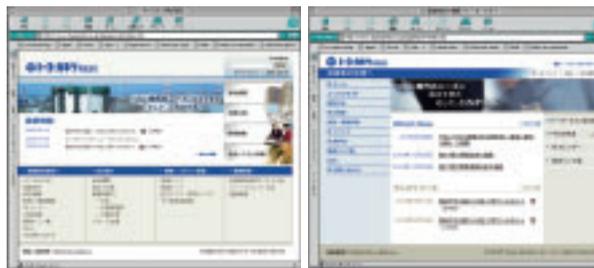
株価および売買高



株主メモ

| | |
|----------------------|---|
| 決算期 | 3月31日 |
| 定時株主総会 | 6月下旬 |
| 基準日 | 定時株主総会 3月31日 その他必要あるときは、予め公告します。 |
| 配当金受領株主確定日 | 利益配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 |
| 公告掲載方法 | 日本経済新聞 ただし、貸借対照表・損益計算書については、下記の当社ホームページに掲載しております。 http://www.toyokanetsu.co.jp/kessan/index.html |
| 名義書換代理人 同事務取扱場所 | 三菱信託銀行株式会社 三菱信託銀行株式会社 証券代行部 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 |
| 同取次所 郵便物送付先・電話照会先 | 三菱信託銀行株式会社 全国各支店 三菱信託銀行株式会社 証券代行部 〒171-8508 東京都豊島区西池袋一丁目7番7号 電話 0120-707-696 (フリーダイヤル) |
| お知らせ | 住所、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取請求に必要な各用紙および株式の相続手続依頼書のご請求は、名義書換代理人のフリーダイヤル0120-86-4490で24時間承っておりますので、ご利用ください。 |

ホームページのお知らせ



TOP画面

IR情報ページ

<http://www.toyokanetsu.co.jp/>
当社に関する情報がご覧になれます。

トヨカネツ株式会社

本社 〒136-8666 東京都江東区東砂八丁目19番20号
TEL.03 (5857) 3333 (代表) FAX.03 (5857) 3170

R100
古紙配合率100%再生紙を使用しています

PRINTED WITH
SOY INK